

# 東京鰐陵

発行 ● 東京鰐陵会  
 会長 木村莞爾  
 発行所 ● 東京都中央区日本橋蛸船町1-8-2-305  
 (三宅デザインルーム方)  
 TEL & FAX (03) 3662-6593  
 編集 ● 東京鰐陵編集委員会  
 郵便振替口座番号 東京鰐陵会  
 東京00180-4-350194

## 第20回 東京鰐陵会総会開催される



菊池副会長の議長で議事が進められる



木村会長の挨拶

### 木 不 鰐 陵 云 総 会



応援歌をリードする境田さん(37回生)と元女子応援団長の菅原さん(81回生)



共学後、最初の卒業生(81回生)の皆さん



講演する高砂さん(53回生)

### 木 不 鰐 陵 云 総 会



次回の担当幹事33・34回生に引き継ぎのハッピーを贈る31回生の飯田さん



久しぶりに応援歌を歌う19回生の皆さん

平成21年11月15日(日)、東京鰐陵会の第20回総会が開催された。霞ヶ関ビル35階にある会場の東海大学校友会館「阿蘇の間」に、会員・来賓合わせて126人が集まった。総会は3部に分けて行われた。第1部は総会。木村莞爾会長の挨拶の後、会則の一部変更、ホームページの開設とそれに伴うPC購入が説明され全員了承を得た。第2部は講演会。写真界で活躍する高砂淳二さん(53回生)のスライドトークで、自然とのかかりなどを、自作をスライドで紹介しながらの30分、若い会員の共感を得たようだ。第3部は、担当幹事の31・32回生の進行で、始めに木村貴則事務局長(33回生)から来賓の紹介があった。

三河鰐陵同窓会副会長、氷室石巻高校長、恩師・湯本眞哉先生、石巻商業高校同窓会関東支部、石巻弘文館高校同窓会関東支部の方々を紹介された。

来賓を代表して三河鴻一副会长(28回生)と氷室眞也学長のご挨拶をいただいた。19回生・及川洋さんの乾杯で賑やかに懇親会が始められた。アトラクションは地元石巻地方に関するクイズで、正解率で順位を決めるという方式。各テーブルごとの対抗戦で、答えをまとめるのにてんやわんや、大いに盛り上がった。予定の時間をオーバーした総会になったが、最後に三宅哲監事(27回生)の1本締めで、第20回総会を閉じた。

編集長	武田 勅 (36回生)
参事	佐藤 信男 (17回生)
顧問	水室 眞也 (客員)
事務局長	千々松秀吉 (49回生)
	高城 宏 (47回生)
	青木 利光 (43回生)
	小笠原秀一 (39回生)
	林 久善 (38回生)
	菅野 昭雄 (36回生)
副会長	三河 鴻一 (28回生)
会長	佐藤 佑 (26回生)

## 祝会報「東京鰐陵」第11号

### 鰐 陵 同 窓 会

事務局 〒986-0838 宮城県石巻市大手町3番15号  
 宮城県石巻高等学校内 TEL/FAX 0225 96 9008



# 東京鰐陵会の近況



東京鰐陵会会長 木村莞爾(29回生)

新年明けましておめでとう  
ございます。本年もよろしく  
お願い申し上げます。

東京鰐陵会は、発足以来昨  
年で50年になりました。

昭和34年に鰐陵同窓会東京  
支部として会員116名で誕  
生した本会も半世紀を経たわ  
けで、今や会員は1400名  
に迫ろうとしています。この  
隆盛ぶりにつきましては、先  
輩の方々の日ごろの暖かい応  
援と、会員の皆さまからの寄  
付や協賛などの貴重な援助の  
たまものと、厚くお礼申し上  
げます。

本会の最近の主な動きを紹  
介します。まず近いところで  
は、昨年11月15日に、鰐陵精  
神のもと126名の参加者を得  
て、第20回総会を開催しま  
した。今回は新しい会員も多  
数出席、特に初めての女性会  
員を含め共学第一期の卒業生  
も一堂に会して、懇親会は大  
いに盛り上がり、孫とおじい  
さんみたいな年齢差の会員同  
士の会話が弾みました。将来  
ともこの間柄と雰囲気は大切  
にしたいものです。

次はホームページの開設と  
パソコンの購入で、これは50  
周年記念事業として、理事会  
でも強い助言がありました。  
ホームページは、運営委員の

ひとりが全力傾注で制作し平  
成20年5月に開設。今は会員  
と事務局のコミュニケーション  
にも非常に役立っています。  
当初個人的提供であったパソ  
コン本体は、ホームページ用  
として、また会員の名簿管理  
など事務処理の合理化に必須  
なので、会の資産として11月  
に購入しました。これからの  
運営には、この分野を得意と  
する会員の積極的な助力を期  
待します。

三つ目に、会則の改定を行  
いました。もともと同窓会な  
どの会則は融通性のある方が  
適当なのですが、昭和62年制  
定以来手を加えずに経過して  
さすがに現状にそぐわない部  
分もあり改訂しました。本会  
の仕組みも大まかに理解でき  
るものと思います。

そしてもう一つ、今回お届  
けする会報『東京鰐陵』第11  
号で、これは手間のかかる仕  
事です。発行に際しては、広  
告に協賛いただいた有志の皆  
さまと、編集責任者三宅哲さ  
ん(27回生)の多大なご尽力  
に心から感謝申し上げます。  
今後の本会の方針としては、  
右のうち、①総会 懇親会  
(隔年開催)、②ホームペー  
ジ、③会報『東京鰐陵』発行、を  
運営の三本柱として考えて行  
きます。その継続のためには、  
運営委員と事務局スタッフ一  
同、努力はもちろん、全会員

の知恵と力を借りることが必  
要です。同時に、本会の運営  
資金は会費制ではなく寄付金  
に拠っていることと、事務局  
経費やパソコン管理費、会議

## 鰐陵生から見た共学後の母校



鰐陵同窓会会長 佐藤 佑(26回生)

の知恵と力を借りることが必  
要です。同時に、本会の運営  
資金は会費制ではなく寄付金  
に拠っていることと、事務局  
経費やパソコン管理費、会議

鰐陵同窓会では共学1期生  
である平成21年卒業生(81回  
生)を迎え、新たなスタート  
を切りました。また、恒例の  
同窓会総会が21年8月15日に  
石巻グランドホテルで行われ、  
多数の同窓生の方に参加して  
いただきました。東京鰐陵会  
からも、木村会長、渡邊前会  
長をはじめ多くの方に遠路参  
加していただきましたことに  
改めて感謝申し上げます。

総会の中で、共学1期生の  
代表として菅原文子さん、野  
田淳喜君の挨拶があり同窓会  
も新たな時代を迎えたことを  
ひしひしと感じました。その  
ような中にあっても男子校時  
代に培われた鰐陵魂は、確実  
に後輩たちに受け継がれてい  
ることを実感することができ、  
頼もしくさえ思えました。東  
京鰐陵会に女性の後輩が現れ  
る日はそう遠くないと思いま  
す。

さて、現在の石高は、旧図  
書館の跡地にトレーニング  
ーム(小規模体育館)が完成し、  
真新しい校舎が並ぶ今風の学  
校に様変わりしています。私

時交通費なども関係者有志の  
好意に頼っている現状をご理  
解いただき、皆さまのお一  
層のご支援とご協力をお願い  
いたします。

たちが学んだ木造校舎の面影  
などは感じられません。これ  
らの新築 改築などの工事は  
共学化を見据えて行われたも  
のであります。共学化が同窓  
生に与えた最大の影響は、校  
地の風景が一変した事かもし  
れません。

現在では各学年百名ほどの  
女子がおり、以前と変わらず  
文武両道を目指し、勉学部  
活に連日取り組んでいるよう  
です。共学化当初は女子の人  
数がだんだんと増えていき、  
そのうち女子校化するのでは  
ないかと危惧する声もあった  
のですが、女子生徒の入学数  
は、毎年百人前後で落ち着い  
ているようです。学校の行事  
も春の応援練習から秋の文化  
祭まで行われているようです。  
特に応援練習の際に女子生徒  
が袴姿で後輩を指導する姿を  
見ると、母校も変わったなど  
痛感します。後輩たちの話に  
よりますと、応援団の男子よ  
り女子の指導の方がはるかに  
怖いんだということです。

共学化後新設された部活は  
ありませんが、ほとんどの部  
に女子がおり、選手あるいは  
マネージャーとして各種大会  
に参加しております。昨年、

関西で行われたインターハイ  
には、陸上部 ポート部 ウ  
ェイトリフティング部 水泳  
部が出場しました。この中で  
ウェイト部以外は女子も出場  
しています。ウェイト女子は  
インターハイの種目にないた  
め参加していませんが、青森  
で行われた全国大会には出場  
しています。このように部活  
動でも女子の活躍は目覚まし  
いものがあります。

日常生活での変化は男子校  
時代には野太い声だけだった  
ものが、女子特有の甲高い賑  
やかな声が聞こえるようにな  
り、少々華やかになった点で  
しょうか。昼時になると、同  
窓会館1階にある食堂からは、  
女子生徒の声も聞こえてきま  
す。こういう光景を目の当た  
りにすると、石高は共学にな  
ったんだなという思いを強く  
します。しかし、男女問わず、  
石高に入学する生徒は次のス  
テップを目指し学校生活に前  
向きに取り組んでいるようで  
す。これは共学1期生の進路  
先を見ているとうなずけるこ  
とです。男子校時代と何ら変  
わっていないようです。この  
いう日常生活の中で鰐陵精神  
は脈々と受け継がれているよ  
うです。

ところで、同窓会の各支部  
では6月の浦谷を始めに、こ  
れまで関西、松島、東海、鳴  
瀬、河南、仙台と各支部で総  
会を行いました。いずれも和  
やかな雰囲気での会が進められ  
皆さんは旧交を温められてい  
ました。その中で昨年も関西  
支部で2名、東海支部で1名

おかげさまで、平成12年3月15日  
ジャスダックに上場しました。  
(証券コード番号 7568)

# WE'LL BE THERE

近年中に東証二部上場を  
目標としています。

平成21年9月 顧客数220,000戸を  
突破しました。



本社 / 千葉市若葉区加曾利町690番地 電話043(234)2111(代)  
支店・営業所 / 千葉・船橋・柏・銚子・市原・成田・四街道・茂原・埼玉・所沢・熊谷  
水戸・土浦・宇都宮・小山・群馬・長野・甲府・那須塩原・つくば

代表取締役会長 平山貞夫 (27回生)

簡易ガス課課長 田村 修 (27回生) 茂原営業所長代理 石橋橋夫 (65回生、旧姓新田)  
非常勤監査役 津野廣明 (27回生) 顧問 伏見祐吉 (28回生) 千葉営業所 丹羽秀徳 (73回生)

●人材募集●全力投球する鰐陵生・知人をご紹介ください。

トーホクガス(株) 仙台市青葉区上杉3-7-6 金野稔 (27回生) 伊勢明夫 (30回生) 阿部礼 (74回生) 伏見良明 (76回生)  
支店・営業所 / 仙台・仙台東・古川・山形・北上・盛岡・秋田・福島・郡山・いわき・会津

宮城ガス(株) 仙台市青葉区 代表取締役社長 菅原信武 (34回生) 菅原朋大 (68回生)

札幌ガス(株) 札幌市厚別区 後クレックス三和 仙台市青葉区

杉野石油ガス(株) 南房総市千倉町 株藤森プロパン 商會 安曇野市農科 株旭商會 八戸市小中野

クレックスグループ 鰐陵事務局 田村修 (27回生) ☎043-423-2811



現役大学生が参加し、先輩方から大歓迎されました。これからは各支部総会に若手が一人でも多く参加されることを期待しています。

最後にになりましたが、東京鰯陵会の会報発行、大変おめ

## 鰯 陵 祭

宮城県石巻高等学校校長 氷室眞也



私が赴任した年は、共学2期生が入学し、3年生が男子学年、1、2年生が共学学年という構成でした。早いもので、校地内の木々の葉も色づきはじめ、3度目の秋を迎えております。この3年間を振り返り返って、昨年は交通事故により生徒が亡くなるという大変残念なことがありましたが、学校の雰囲気は、年を重ねるごとに女子生徒のパワーが増していると感じています。今年度の在籍状況は712名、内訳は男子424名、女子288名となっております。過去4年間の女子の入学状況から推察しますと、今後もおおよそ300名で推移するものと考えております。

ここで、共学が完成して2年目を迎える本校の様子を紹介致します。

本校には、生徒会が中心となつて行う3つの学校行事(6月の球技大会、7月の体育大会、そして8月に行われる文化祭)を総称して鰯陵祭

と云うございます。会報が会員相互の親睦をさらに深めるものと考えております。編集に携わった皆さまのご苦勞に深謝申し上げます。また、東京鰯陵会の益々の発展を祈念しております。

## 事務局から

第一回公演を行い、好評でした。また、新たに企画したカラオケ大会では、先生方の飛び入りもありました。ここ数年行っているものにクラス対抗でのラインダンスがありますが、生徒の行事への意識の高まりから年々レベルが上がっているようです。さらに、伝統となっている鰯陵大相撲は、勝ち抜き戦に今年度は戻し、大変盛り上がりました。改めて本校生徒の生き生きとした姿を見ての感想ですが、生徒自身が様々なことに積極的に参加し、大いに楽しむ、これが鰯陵生なのかと再認識させられました。閉会式では、鰯陵祭の締めくくりとして、3つの行事でクラス対抗となっている部門を集計し、鰯陵王の称号を今年度は3年C組に与えております。

## 事務局長

東京鰯陵会事務局長 木村貴則(33回生)



今回の「東京鰯陵会」第20回総会の出席者は結局126名となりまして、出席回答数を7名下回りました。今回の卓盛形式の食事の場合は、出席見込み分の料理を仕込むので、当日欠席の人数分の料理代金も支払わなければなりません。数の見込み精度を上げる方法には課題を残しました。しかし、食べ物と飲み物に関してはご満足をいただけたように思います。

総会の都度ご支援をいただいている2つの企業を紹介いたします。1つは「株式会社一ノ蔵」様です。全日空ホテルでの総会開催の時から、宮城の銘酒「一ノ蔵」を二十数本提供頂いております。もう1つは、第18回総会の時から土産の蒲鉾を参加者全員に頂戴している石巻の白謙蒲鉾店です。第18回総会は、小生の33回生が副当番幹事回生になったので、石巻の同期会の会長(亀山現石巻市長)と副会長(白謙社長(白出征三氏))に話を持ち掛け、彼らに参加を促し、合わせて蒲鉾の卓上提供を相談したのが切っ掛けでした。蒲鉾提供は快諾して

くれましたが、テーブルに出すことは会場に迷惑をかける場合があるので、会場では開けないで、手土産にして持ち帰って頂くとうと社長から提案がありました。そして、社長が総会当日に早めに出て来られて、包装した蒲鉾と保冷剤とを保冷バックに詰めて封印し手提げ袋に入れる作業を指導頂きました。それが縁で今回もお世話になりました。これを帰りに貰って帰るのが楽しみです、と言う先輩も多く居られますので、白謙様には何時までお願いして良いものやらと思案しております。

今回の案内状に対する回答状況を把握して感じたのですが、1、350通程を送付して、宛先不明で返却されたのが110通、欠席が450通、出席が120通、残りの700通ほどは回答が無いのです。これ等の無回答の方の意思を確認する方策を、各期の代表者と連携して推進したいと考えています。現在会員名簿は公開していませんが、同期会生分に限って代表者に提供し、同期生の動向把握に活用することや、会のホームページを活用した会員情報の把握などです。ご意見を歓迎します。

文化祭を主に述べましたが、共学が完成して2年目となり、いずれの行事においても、準備から後かたづけまで、すべて生徒会を中心に、生徒自身の手で行い、本校の伝統であ

る自主自立の精神が、しっかりと受け継がれていることと

感じさせるに十分な学校行事となつていきます。

**セントラルフィルター工業株式会社**

代表取締役 松川文隆 (29回生)

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-15  
TEL (03)3350-0091(代) FAX (03)3350-0095

税理士法人  
**桜田会計事務所**

税理士 櫻田 巖 (21回生)

公認会計士 櫻田 修一

〒210-0006 川崎市川崎区砂子二丁目十一  
ルリエ川崎駅前ビル三〇一  
TEL 〇四四-二四四-二七一八



動め先での引継ぎが完全に終わり名実ともにフリーになつて、さてこの後何をすべきか? と思索していた折、私の住む町田市の広報に「障害者とともにハスの刈り取り作業をしませんか」という作業協力者募集記事が掲載され、

絶好の暇つぶしと思つて応募したのが現在のボランティア活動のきっかけとなり、それから13年間で障害者支援、自

な繊維)や茄糸(茎を苛性ソーダ液で煮て採取した繊維)で織った織物をはじめ蓮の実や花托などを使った手工芸品、紅花からは紅花染料用の紅花餅作りなどの作業をしている。自閉症の障害者が働く場である。

言葉が全然しゃべれなく意志の適切な表現が出来ない青年、同じことを繰り返して大声でしゃべり出す青年、突然暴れだし暴力的になる青年などなど、初めて経験する仕事場の雰囲気、困りに陥倒され、このままで手伝いをやっていけないのか不安になったものだった。

しかし3日を過ぎ気が知れてくると、彼らから積極的作業の手助けをしてくれたり、昼休みにはソフトボールをしようと誘つてくれたり、その不安は消し飛んでしまった。

このような障害者との付き合いが13年を経、保護者と話をする機会もあり、その中で「子供を授かった喜びもつかの間、自閉症と分かたつた時には、子供の将来のこと、特に自分達が亡くなった後のことを思い、真剣に中心を考えたい」と、異口同音に当時の苦衷を話す方もいた。しかし「今はそれを運命

として受け入れ、元気に暮らすだけに努力している」と話してくれたが、保護者の多くは子供を世間から隔離し、世間の目に触れさせたくないと考え保護者が多いのが現実で、このような苦しみは健康者には解らないばかりか、むしろ障害者を避けようとする傾向にあることも現実である。同じ時代に生を受けた人間同士として、もっと理解し合うべきではなからうか。

## 第2の人生



青沼義信 (25回生) ハス田

その関係づくりのキツカケになればと考え、ハスの花写真コンテスト公募を企画し、入賞 入選作品の写真展を大賀藕絲館や町田市フォトサロンで開いているが、今年3回目を迎え200点近くの応募があつたこと、地元写真店ニコン キヤノンがこの企画趣旨に賛同し支援してくれていることは、障害者との関係づくりには大きな力となり心強く思っている。

私達がネパールの教育支援団体(現NPO法人ネパールミカの会)に入会したのは障害者の施設で手伝いをするようになって2年目だった。入会して教育支援旅行に初めて参加して目にしたのは、カトマンズの空港を出たとたん子供たちがばらばらと寄つてきて荷物を運ぼうとする。盗まれるのではないかと慌ててしまつたが、チップを貰うためだつたと分かり一安心。町を歩いてみると「ヒャクエン、ヒャクエン」や「スイート、スイート」と言いながら纏わりつく子供たち。このような光景を見ると、六十年代前太平洋戦争で敗戦国となり、進駐軍の兵士にチヨコレートやチューインガムを貰う為、ついて回つた苦しい思い出が甦り、やり切れない思いがした。

このような貧しい生活の子供たちだが、目が澄んでいて輝いているのはどうしてだろう? と不思議にさえ感じてしまつた。

この活動は首都カトマンズ、ルンビニ地区、山岳都市タンセン市の学校を支援しているが、特にルンビニ地区は釈迦の生誕地で、世界遺産に登録されているにも拘わらず非常に貧しく、小学校入学率は20~30%とのことに信じられない思いだつた。

生活の貧しさは勿論のことだが、国自体が教育に対する予算が少ないようで、この地区の小学校(5年制)では最低5教室がなければならぬのに、ほとんどの学校で政府支給の2教室しか無く、これも低就学率の一因であり、特に女子の就学者は男子の3分の1にも満たないほどのも驚きだつた。

### 【障害者(social)】

ボランティア活動のきっかけになつた知的障害者授産施設は、大賀藕絲(ぐうし)館といい、大賀蓮や紅花を栽培し、大賀蓮からは藕絲(生の茎から採つたクモの糸のよう

な繊維)や茄糸(茎を苛性ソーダ液で煮て採取した繊維)で織った織物をはじめ蓮の実や花托などを使った手工芸品、紅花からは紅花染料用の紅花餅作りなどの作業をしている。自閉症の障害者が働く場である。

言葉が全然しゃべれなく意志の適切な表現が出来ない青年、同じことを繰り返して大声でしゃべり出す青年、突然暴れだし暴力的になる青年などなど、初めて経験する仕事場の雰囲気、困りに陥倒され、このままで手伝いをやっていけないのか不安になったものだった。

しかし3日を過ぎ気が知れてくると、彼らから積極的作業の手助けをしてくれたり、昼休みにはソフトボールをしようと誘つてくれたり、その不安は消し飛んでしまった。

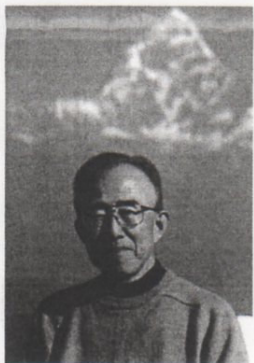
このような貧しい生活の子供たちだが、目が澄んでいて輝いているのはどうしてだろう? と不思議にさえ感じてしまつた。

この活動は首都カトマンズ、ルンビニ地区、山岳都市タンセン市の学校を支援しているが、特にルンビニ地区は釈迦の生誕地で、世界遺産に登録されているにも拘わらず非常に貧しく、小学校入学率は20~30%とのことに信じられない思いだつた。

生活の貧しさは勿論のことだが、国自体が教育に対する予算が少ないようで、この地区の小学校(5年制)では最低5教室がなければならぬのに、ほとんどの学校で政府支給の2教室しか無く、これも低就学率の一因であり、特に女子の就学者は男子の3分の1にも満たないほどのも驚きだつた。



ハスの茎から繊維を採る作業



ポカラにて、マチャブチャレをバックに



林の中も教室



ネパール ミカの会が贈つた新築のマスワー小学校前で(この写真は、中学校の公民の教科書に採用された)

が50%にも満たないのも当然の事と納得せざるをえなかつた。

現在までにルンビニ地区では13校へ校舎および図書館を建設しているが、小学校の就学者は支援を始めた10年前と比較すると約60%の増加を見ている。特に女子の就学者は3倍という信じられないほどで、支援の効果が数字として証明されている。

タンセン、カトマンズでは小中高校 大学 専門学校17校に主に図書を支援しているが、現在まで6千冊以上の贈呈が出来、そのほか実験器具、制服など毎年定期的に支援活動を行っていることから、これらの活動が大きく評価され、今年6月駐日ネパール大使から感謝状を贈られるまでになり、会として非常に光栄に思はならない様相になってきた。

以前、妻には「ボランティア活動は75歳で終わりにする」と宣言したが、私のマニフェストは、本意ながら「数年先に……」と変更しなければならぬ様相になってきた。



## 21回生だより

21回生は、昭和18年の入学で150名でした。そのうち昭和23年 旧制中学を卒業したものと、昭和24年新制高校卒業者を合わせると200名になります。このうち約70名が黄泉の国へ旅立ちました。東京地区でも、万代茂、森健樹、菅野七三郎、湊貢四郎の4人

が逝去しました。また、甲子園出場組の4人もあの世でなかよくキャッチボールをしていることでしょうか。

毎年9月に石巻で同期会をやっていますが、約50名ほど出席、東京地区から4名ほど参加しています。

願わくば認知症にならず、ポツクリ逝くのが同期生みんなの気持ちです。

(青山景一記)

## 『鰐陵23回生同期会 喜寿総会』

遠藤永七郎(23回生)



鰐陵23回生同期会は生きてる限りは青春だを合い言葉に、昭和52年8月に第1回総会を石巻・つつじ園で開催、誕生した。

昭和26年3月卒業後、大志を抱き夫々仕事に邁進して20数年経て立場の違いがあっても責任ある位置に立って居た心の葛藤も大なるものであった。そんな中、将来に向け励まし合い、憩い合う掛け替えのない時を持つと石巻在住の同期生有志が幹事役となり纏めあげ、本部石巻、支部仙台、東京と決め設立されて隔年開催ながら三地区輪番制で順調に継続され今日に至っている。古希を迎えた頃、誰からもなく開催幹事、事務局関係者の準備、設営、運営上に過大な負担がかかり感謝だけでは

の結果、紆余曲折の中、極めて残念ながら本年の17回をもって最終の会にすると結論づけ、喜寿記念として開催が決まったのである。

## 鰐陵23回生同期会 (最終同期会)

喜寿記念第17回総会開催

第1日目・9月13日(日)

東京、仙台26名、仙台駅合流バスにて石巻現地21名予定通り石巻駅大もり屋に集合。挨拶なのか昼食なのか分別つかない賑わいと、仲間ならではの2年振りの再会。食後のお茶もそこそこバスに乗車。サンファン館、母校見学、緑一杯の日和山公園は車窓から済みます。

松島、巨大観荘へ。松島湾上の大歓迎に全員喜色満面。一服、入浴と記念写真と予定を進める。

18時総会開会。校歌斉唱、開会宣言、物故者72名に黙祷、実行委員長、仙台、東京の代表の挨拶、乾杯発声を得て懇談の大宴に入る。最終の会の意識の講話は濃厚、時間は不足と熱気溢れる雰囲気は二次会へと続いた。

2日目  
名庭園円通院見学、貸切船松島湾内外海コース遊覧後仙台へ。14時駅前で別れを惜しみつつ、再会を約し解散となった。

ホテル松島大観荘での「喜寿総会」



## 29回生だより

岩淵 茂(29回生)



○東京鰐陵富久の会発足

29回生は平成21年9月5日に浅草にあるどげうの飯田屋で、三宅哲先輩(27回生)の出席を仰ぎ同期会を開催しました。総勢62名中19名の出席でした。

飯田屋で談話中、同期会に名前を付けることになり、29回生の二九は「ふく」と読めるので縁起の良い名前にしよ、など議論が尽きませんでした。結論として富久(ふく)の会に決まりました。今後は東京鰐陵富久の会と称します。

○石森君と映画

会員に石森君がいます。彼は今漁村を舞台にして戦後間もない頃の世相を描く映画を作ろうと奮闘中です。企画は大分前から出来ていて準備してきたのですが、昨今の経済情勢により開始が遅れていました。今ようやく具体的な撮影日程の検討に入るそうです。

ロケ地は石巻とその周辺が中心になるようですが、街も景観も昔と大きく変わっていますので、撮影に大分苦労しそうと言っています。映画の完成が待たれます。

## 山登りしてみませんか

小島守夫(30回生)

私が登山を始めた高校生時代(昭和30年代)は中高年者もいましたが、20代、30代の若い登山者が中心であったように記憶している。1952年(昭和27年)から日本山岳会によって行われたマナスル遠征(1956年 昭和31年初登頂)は日本の登山に大きな影響を与えた。このことによりヒマラヤについて学ぶと同時に登山装備の開発 研究も進められ、ヒマラヤ登山ばかりではなく一般登山者の装備としても利用され、われわれもマナスル遠征で開発された布製のキャラバンシューズやナイロン製テント等の装備の恩恵に与った。

このころは戦後の第1次登山ブームとも言われ登山やスキー客のための直通列車、列車の増発等が行われていた。谷川岳の麓、土合駅に上越線の夜行列車で降り立ち我先に登山口に向かう登山者の列、新宿駅のホームは夜行列車で南北アルプスに向かう登山者であふれていた。鉄道だけではなく大型観光バスでの輸送も盛んになりレジャーの一つとしてブームになった。

登山の一般大衆化に伴う登山客の増加に対応するため、山小屋の施設整備、登山道の新設や整備なども行われた。前置きが長くなってしまいましたが、最近は少し下火に

代表取締役 白出征 三 (33回生)

専務取締役 白出哲 弥 (61回生)

常務取締役 白出雄 太 (69回生)

石巻本店  
宮城県石巻市立町二丁目4-29  
TEL: 0120-20-7842  
TEL: 0225(2)1842; (2)9151 FAX: 0225(2)5900  
http://www.shiraken.co.jp



なつたとはいえ中高年登山者を中心にした登山ブームが続いている。健康志向や目標探しの中でゴルフやジョギング、ウォーキング等とともに登山も選択肢の一つとなっていると思っ

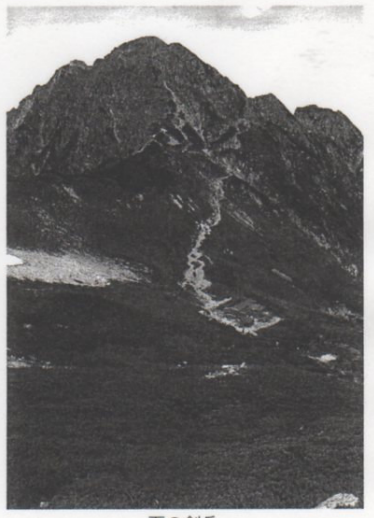
先頃、山岳雑誌の中で登山の健康増進効果を取り上げられていました。その中で、摂取カロリーが同じになるよう食事指導した30代、60代の男性を対象に、週1回5時間の登山(10名)と通常の歩行の他に毎日7000歩(約1時間相当)のウォーキング(9名)を1ヶ月間実施した実験結果を発表していますが、登山は週1回にもかかわらず、毎日行うウォーキングと同じ程度の体重、BMI、体脂肪率量の減少が認められています。特に毎日運動をすること

が難しいサラリーマンなどにとって、登山は週末に運動が出来るというメリットがあると思っ



立山の山頂で

山は素晴らしい山なので、目標にすることはいいですが、登山数を数えるだけの駆け足登山ではなく、少し余裕を持って人や時間と競争することなく自分の趣向にあわせて安全で楽しい登山をしてほしい。登山の素晴らしさは達成感や充実感等もさることながら計



夏の剣岳

が登山者を迎えてくれる。また、木々を渡る風の音や雲の流れ、草木のうつろいに心が安まり、ストレスの解消、元気の供給源になるのではと考

画から登山活動終了までのプロセスにあると考えています。誰でも登山を楽しむことが出来るといいますが、一方では遭難事故が年々右肩上がりに増加しています。初めは経験者と一緒に自分のレベルにあった登山をし、経験を積んでレベルアップしていくこととお勧めします。なぜ多くの人が山に魅せられるのか、是非、一度山登りを体験してみて下さい。(石高OBの鰐陵山岳会メンバーも個人山行の他、年に一度の懇親山行を実施しています)

### 変化の時代とは

#### 雲水(40回生)

世界的な変化の時代が始まってすでに20年が過ぎました。しかし、未だにその変化の行き着く先を明確に話せる人は少なく、不安と焦燥の時代が続いています。

アメリカの大統領もchangeという言葉で活躍しています。何が動き、何が

変わっていることは、今なら誰にでも理解できます。しかし、社会や経済や政治がどのように変わり、いつこの変化が安定するのか予測できる人が少ないのも事実です。

変化という言葉は単純にchangeとして翻訳すると、変化という言葉が持つている東洋的で深遠な哲学を学ぶことができません。

変化とは、「変」と「化」と二つの単語から構成された言葉であり、その意味は極めて示唆に富んだ意味深いものです。

「変」とは、姿も形も仕組みまで全く変わって古いものが跡形もなく消えてしまうという意味です。梨畑を潰して林檎畑に換えるというように、激烈で根底的に変わることを意味している言葉です。

梨畑を林檎畑に換えるには、梨の木を根こそぎ引き抜いてしまう必要があります。そして林檎の苗木を植えて畑を替えてしまうこと、これが「変」です。それでは「化」とは何かといえば、植え替えた林檎の苗木を、時間をかけて育て、一箇所の林檎畑で美味しい林檎が栽培できたなら、その技術や作業方法やノウハウを普及して、どの梨畑も林檎畑に換えていく、一定の価値を確実に普及していく、時間のかかる定着の課程を表現する言葉です。

歴史的事件で変と化を理解すれば、1867年の大政奉還 1868年の明治新政府の樹立によって、江戸時代から明治時代へと全てが変わってしまったことも「変」です。この変は、日本だけの「変」ではなく、18世紀のイギリスの産業革命から始まった世界的な変革の波が日本に及んだものです。この変はやがてある一定の形つまり「化」として定着していく課程の事件が20世紀の資本主義と社会主義の対立や第1次、第2次の世界大戦といえます。労働者と資本家の対立から生まれた政治的な対立である東西対立が終焉した1989年のベルリンの壁の崩壊で、3世紀にわたって世界を変質させてきた18世紀 19世紀 20世紀の変化の時代が新しい変化の時代へと引き継がれたのです。

「変」の時代の特徴は、新しくやってくる未来に敏感な青年や年を取っていても精神的に柔軟な人々が主導し、社会や技術や価値観までを激しく大きく変質させることです。幕末には、日本の若者が変の風を感じて羽ばたきました。1989年から始まった変もIT革命として若者が先導しました。何かをも激変させる変が終わればやがて「化」の時代となり、社会は一定の価値を形にしていく時代へ移行します。化の時代は、人々が受け入れた価値をじっくりと社会に定着させる作業ですから、時間が必要であり、化が進めば進むほど、経験と年齢が必要になり、そのような人々が必要とされ尊重されます。1989年のベルリンの壁の崩壊から始まった世界の

伝統の技と心 手づくりの酒

三十三回生 石島 正敏  
五十四回生 内海 貞和

株式会社 一ノ蔵  
宮城県大崎市松山千石字大樺十四  
〇二二九(五五)三三三三(代)  
http://www.ichinokura.co.jp/

お酒は二十歳になってから 飲んだら乗らない大人のマナー

献寿 長寿の慶び

我等雄心

鶴岡石巻高等学校三十回生 雄心会  
関東地区在住者十回



「変」は、2009年です。20年を経て、あらゆる産業を巻き込み、エネルギー革命、エコロジー革命など世界中を巻き込んで動いています。この激動は誰にも止められませんが、政治も政治体制も金融も経済の基本的な価値も全てが変質します。新しい価値を生み出す精神を持つ人々が世界を変えているのです。

この「変」の激動は、大陸の隆起による地殻変動とも似ています。隆起した土地はやがて雨や風に浸食されて、複雑な地形が想像されます。これが化の歴史です。

変の時代は、社会が新しい価値によって変貌していくために、破壊と創造が同時に起きてくる時代ともいえます。

私は高校時代、硬式野球部に籍を置いていた。いまだに付き合いのある同郷人は、野球部と仕事関係の仲間がほとんど。東京近辺に住んでいる野球部OBとは、年に数度のペースで飲み歩いている。同級生と1年先輩、後輩の10人余りが常連さんとなる。

先日、何気なく鰐陵OBの名刺を眺めていたら、弁護士や医者、大学教授、企業の代表者など錚々たる顔触れが並んでいた。高校時代は部活中心の生活で、いわゆる落ちこぼれもいたのに変われば変わるものだ。さすがは、名門校の面目躍如といったところか。もちろん体形が崩れ、頭の天辺が薄くなった輩が多いのと言うまでもない。

### 「鰐陵」バンザイ!

平塚 仁(49回生)

人生も半ばを過ぎた。40にして惑わず、50にして天命を知るといわれるが、いまだに右往左往、四苦八苦、七転八倒している自分がある。定年まで、わずか10年足らず。残りの人生をいかに有意義、かつ楽しく過ごすのか……。そろそろ真剣に考えるべき時に来ているのだろうか、日々の仕事に追われ余裕もないのが実情だ。

ただ、唯一自慢できるのは同郷の仲間にも恵まれていることだろう。先日も、いい年をした鰐陵健児と泊まりがけのゴルフを楽しんできたばかり

メンバーと集まっていた。学年やクラブが違っても、同郷の仲間と会えるのはうれしいものだ。少し大袈裟かも知れないが、今やわが人生に鰐陵

### 若者に増加する 未熟型うつ病について



大内 浩(52回生)

今回は、身体ではなくこの問題で、最近若い世代に多い現代型うつ病のお話をします。

僕は心臓外科医の傍ら、企業の産業医活動も行っています。その中で、従来多かった、中高年のうつ病とは明らかにパターン異なる、若者のうつ(未熟型うつ)のために就労困難となる事例が増加しています。

かくいう私は、マスコミの端くれ(通信社)で時間とニュースに追われている。通信社はいわばニュースの卸問屋だ。古里が誇る河北新報さんとは、持ちつ持たれつ、関係にある。地方紙がカバーできない国内外のニュースを、通信社がカバーする。先日、全国にある新聞社の幹部を集めた会議がわが社で開かれた。河北新報を代表してやってきたのは、なんと石高の同級生だった。クラスと出身中学が別なので特に親しかったわけではないが、昔話をするうち打ち解けた気分になった。

社内では、同じ部署で働いている同僚と、経済部の4年後輩にも石高OBがいる。大阪で単身生活を送っていた時も、年に数回は関西鰐陵会の

生は必要不可欠の存在となっている。体が元気に動くうちは大いに飲み、語り合いたいと思う。鰐陵、バンザイ!

難なくできるのに、いざ職場へ行くと身体が動かなくなったり、動悸や過呼吸になったりしてしまうのです。仕事を休んだ日でも平気でデイズニランドに出かける元気があります。従来型うつは一般に不眠を訴えますが、非定型うつではどんなに寝ても眠く、昼間でも寝てしまう傾向があります。従来型うつは、自分

これまで、うつ、といえば、人生経験を積んだ中高年の方で、まじめで几帳面、責任感が強く、とことん頑張る人が心のエネルギーが切れてなる、とされてきました。

これに対して、近年、若い世代でささいなことをきっかけにうつ状態となり仕事に來なくなり、昔気質の人から見たら我儘としか思えない事例が多業種で認められるようになりました。従来型のうつ病では、どんなときでも元気がないのに比べ、未熟型うつ病では、自宅での家事や趣味は

を責めることが多いのですが、未熟型うつでは、悪いのは上司、同僚、職場環境であるとい他者を責めます。非常に自己愛が強く、こどもがそのまま社会人になったようなものです。とにかく、仕事に行けないのでメンタルクリニックでは立派な病気として扱ってられます。未熟型うつ病といわれるのももともとと思われませんか。

僕の職場(すなわち医者)でも未熟型うつのため休職したり、転動したりする部下が見受けられるようになっていきます。皆様の、職場ではいかがでしょうか。

この2つのうつを一覧表にすると左表のようになります。現代は、親が子供が失敗しないように温室で育て、また、仲間とのギャングエイジ

	従来型うつ	未熟型うつ
年齢	中高年層	青年層
性格	滅私奉公 規則は遵守すべき 実力があるが、不安感あり 仕事熱心で生真面目 凝り性である 自分より他人の気持ちを優先	自己愛が強い 規則を守るのがストレス 根拠のない万能感と自信もともと仕事熱心ではない 多趣味で興味が転々する 人の痛みに気がつかない
うつ状態の特徴	やらねばならない ここで仕事を完遂すべき 自罰的感情 全部が元気でない 不眠傾向 朝調子悪い	なんとなくやる気がしない ここでは自己実現できない 他罰的感情 仕事以外は元気 過眠傾向 夕方調子悪い
原因	秩序思考の教育 循環気質	ギャングエイジの欠落 挫折体験不足 他者への共感性不足

**謹賀新年**

**ささもり薬局**

代表取締役 薬 劑 師 **笹 森 幸 弘** (49回生)

有限会社 サムメディカル  
〒181-0012  
東京都三鷹市上連雀4-1-11 FMミタカビル1階  
TEL 0422-70-3432 FAX 0422-70-3433

三鷹店 三鷹市上連雀4-1-11	シティハイツ店 三鷹市上連雀4-3-5	中坪薬局連雀店 三鷹市下連雀4-8-39
境南店 武蔵野市境南町2-13-17	駅前店 三鷹市下連雀3-15-1	むらさき橋薬局 三鷹市下連雀3-1-8
小金井店 小金井市本町1-5-6	●「ささもり薬局」は、皆様の健康を願っています●	

あけましておめでとーございませす

**東邦工業株式会社**

取締役会長 **渡 辺 武** (30回生)

〒340-0203 埼玉県北葛飾郡葛飾宮町桜田二一三三三ー一〇  
電話(代表) 〇四八〇(五八) 九八二〇番  
FAX 〇四八〇(五八) 九八二四番



体験や、挫折体験を積み重ねるチャンスが少なくなっています。その結果、自己愛が強くなり、逆境に耐えることができず、逆境に耐えることができない。未熟で我儘。な若者が入社してくるのです。

このような若者を未熟型うつに追い込まないための基本は以下の3点です。

1 仕事の意味や位置づけ、展望を見せて意義を感じさせる。

2 仕事の展望を時系列的に把握させる。つまり、この辛さは一生続くのではなくいまはこのあたりであるという示唆をする。

3 きつと成功すると思える感覚をもたせる。ただ、困ったらいつでも助力を惜しまないという姿勢を見せる。

現代の未熟な若者は、自分のプライドが傷つくことをおそれるあまり、原因を他者や環境に求め、かつ容易に職場不適応に陥るのです。彼らに経験を積ませ、成功感覚をいかに蓄積させるかが本当に成熟した社会人となるためには必要なのです。

東京鰐陵会の皆様は先達として若者を指導する立場にあることも多いと思ひ、このような話題を提供させていただきました。

(百田中央病院 心臓血管外科部長)

## 27回生だより

いつまで続くゴルフ対抗戦!

昭和55(1980)年、栃木国体が行われた年に始まった27回生の東西ゴルフ対抗戦。平成21年10月14日、めでたく30回大会を迎えた。

この対抗戦の言い出しっぺは、冥界に行つて久しい中里順夫君と、石巻で健在の佐藤喜太郎君、我孫子にいる佐々木博君である。東軍(石巻地区)、西軍(東京地区)と称してゴルフ好きが集まり、かなり真面目にスコアを競うのである。団体戦で勝つた方が1万円をせしめる、というお遊びも付いている。勿論プレー後はドンチャン騒ぎ。

当初、「おめだつゴルフやるやぶばりあぶまつてなんだべー」とやつかむ声もあったが、最近ではギヤラリーとして参加する者が増えている。ギヤラリー参加者はゴルフ組のスタートを見送つた後、近隣の名所など観光し、ゴルフが終わる頃に18番ホールへ戻つてプレーヤーを拍手で迎える、という具合だ。

しかし、近頃は「アス痛で」「おら狭心症だ」「コス痛でくてダメだ」などという者が続出、今回はゴルフ組11人、観光組13人と参加人数が逆転している。ティーアップした某君はつぶやいた。「おらだづ、いづまでゴルフでござんだべー」

(三七) 哲記

## 「東京展」で奨励賞

27回生の遠藤明夫さん

平成21年9月14日〜10月3日まで東京都美術館で開催された「第35回東京展」で、遠藤さんが奨励賞に輝いた。受賞作品は、縦1m70cm×横2m25cmの大きさ。

遠藤さんは多摩美術大油絵科の卒業。「学生時代から独立展や読売アンデパンダンなどに出品していたが、会社勤めの間は筆を置いていた。60歳になって再び絵を描き始めた。今回の受賞で会員に推挙された」とのこと。

なお、銀座と石巻で個展を開く。日程は次の通り。  
平成22年10月25日〜30日 銀座 画廊のたん  
平成22年11月11日〜14日 石巻 ナリサワ

## 「東京展」で感じたこと

09年秋、都美術館で開催された東京展で、遠藤明夫さんが絵画部門の奨励賞を受賞した。

東京展というのは、絵画はもとよりイラスト、陶芸、クラフト、絵本など各分野にわたがる美術展で、注目される作品も多々見られる。

遠藤さんの受賞作は、「積層」と題する同工の抽象画2作のうちの一つである。

「積層」2作は比喩的に言えば、真っ赤な薬の重なりを描いた者である。黒い空隙が量感や動きや奥行きを加え、赤色の雨が画面を密かに立ち上がらせている。

そして受賞作について言えば、横長の画面の上下を白く切つて薬の層の熱っぽい存在感を鮮明にし、細く黒い額縁で全体をシャープに、また瀟洒に仕上げた。

「積層」2作の感想を簡単に言えば、主題性がはっきりしていて構成また明快、などなど。そのこともあり、

「積層」は粗く騒がしい周囲の作品群に對し、美の定点を示している

たようにも思われた。

会場を出た私は、公園に吹き上げる噴水を見て、あの濁りのない抽象精神をここでも見たように思った。若い時と同じ遠藤さん、受賞おめでとう。

(三七) 宗議 26回生)

## 第20回東京鰐陵会総会での挨拶から

長谷川太一(81回生)

この度は東京鰐陵会総会にお招きいただき誠にありがとうございます。ございませう。さて、皆様ご存知かと思いますが、男子校としての長い歴史を持つ石巻高校も平成18年に共学化し、私たちがその第一期生であります。そこで今回は皆様には未知の世界である女子がいる高校生活を、思い出を織り交ぜつつ紹介したいと思ひます。

## 長谷川里実(81回生)

入学したての頃は、石高は私にとって異質な世界でした。しかし、そんな私も3年間の石高生活ですつかり鰐陵色に染まり、今となつてはあの独特な世界がとて懐かしく感じられます。

共学化1年目ですが、この年はまだ2、3年生に男子の先輩方が残っていました。校内には男の人ばかりで初めは少し怖かったのですが、先輩方は私たちが石高生として歓迎してくれました。先輩方の学年は様々な面で私たちの学年とは違っていました。中でも強力な団結力はとても印象的でした。男子校最後の学年であることの誇りが、絆をさらに強めたのだと思ひます。

行事には一丸となつて真剣に臨み、勝利を勝ち取つた晩には皆で喜びを分かち合い、そしてなぜかおふざけをはじめ男の集団。そんな先輩たちの暑苦しくも美しい姿を見て、私たちは鰐陵魂をすくすく育んでいきました。

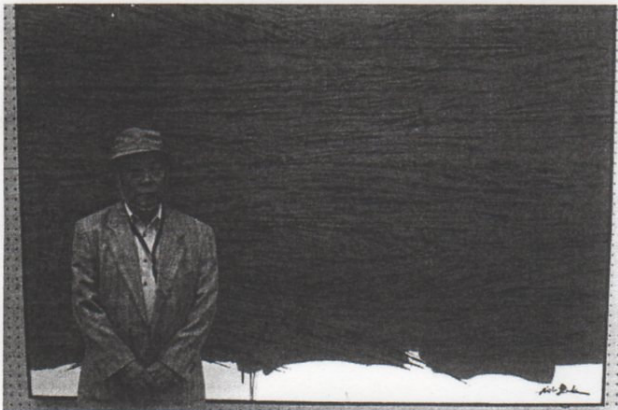
そして共学化2年目。女子の存在感が増し、ずいぶんと共学校らしくなつてきました。先輩方から受け継いだ伝統を後輩へ伝えることが私たちの重要な役割でしたので、恒例の応援練習もすつかりと愛情を込めて行いました。

私たちが3年生になった年、石高は完全な共学校になりました。男子だらけだった1年目と比べると随分と華やかになりましたが、私たちの学年には石高に普通の共学校になつて欲しくないという思い、そして男子校としての石高の伝統と校風を一番知つている私たちがこの伝統を伝えていかなければならないというプレッシャーがありました。しかし、後輩たちを見ていると、そのような心配はあまりいらぬのではないかと思ひやうになりました。後輩たちの、質実剛健の精神をきちんと実践し、自ら進運を開拓していく姿が見られたからです。

共学校となつてもなお、男子女子関係なく男子校時代の雄心は受け継がれており、そんな後輩たちを見て、私たちは安心して石高から巣立つことができたのです。

これからの石高は、新たな伝統を作りながらも男子校時代から続く伝統も大切に、在学中も卒業後も胸を張つて「自分は石高生だ」と言えるような高校であり続けてほしい、と思つていきます。後輩たちは、きつと私たち卒業生も誇れるような石高を創ってくれると信じています。

受賞作の前に立つ遠藤さん





# 情報発信は

## 「東京鰐陵会

### 公式ホームページ」で。

みんなでホームページを活用しましょう

平成20年4月1日、東京鰐陵会公式ホームページを開設いたしました。

東京鰐陵会創設から50年と20回目の節目の総会も盛會裏に終了し、一つの区切りを付けることが出来ました。

ホームページも開設から1年9ヵ月情報の発信をし、アクセス度も順調に伸びホームページを介しての新人会員登録もありホームページの役

ジの仕組み 内容 楽しみ方を紹介させていただきます。PCをお使いの方はおわかりのことと思いますが、ホームページは宝探しです。マウスのクリックで情報源に入り込むことが出来ます。

東京鰐陵会ホームページの仕組みは

- ※トップページ(索引)
- ①「東京鰐陵会とは」
- ②「同窓会会則及び役員名簿」
- ③「東京鰐陵会会長挨拶」
- ④「東京鰐陵会総会」
- ⑤「年間行事」
- ⑥「同窓会報」
- ⑦「同期会」
- ⑧「情報コーナー」
- ⑨「事務局便り」
- ⑩「石巻高校HP」
- ⑪「鰐陵同窓会本部HP」
- ⑫「メール問合せ」

12のクリックボタンに分けてあります。各題名をクリックしますと……

- ①「東京鰐陵会とは」
- 東京鰐陵会のあゆみを掲載ページの下端に「東京鰐陵会年表」ここをクリックすると50年間の年表が表示されます。
- ②「同窓会会則及び役員名簿」
- 東京鰐陵会会則 役員名簿掲載
- ③「東京鰐陵会会長挨拶」
- 木村会長の挨拶文の掲載
- ④「東京鰐陵会総会」
- 第20回総会風景掲載
- 第20回総会風景掲載ページ下の第19回総会クリ
- ックボタンを開くと前回総会も掲載してあります。
- ⑤「年間行事」
- 各会議の月次報告掲載 年間計画クリックボタンもあり
- ⑥「同窓会報」
- 東京鰐陵第1号から10号までの会報掲載
- ⑦「同期会・会員便り」
- 各卒業生の同級会 同期会、会員の活動情報等を掲載
- ⑧「情報コーナー」
- (情報の満載コーナーです)
- イ、石巻高等学校案内
- ロ、なつかしの高校(風景写真)
- ハ、コラム ニ、鰐陵会報2008(51号) 抜粋記事
- ホ、お役立ちリンク集
- へ、鰐陵掲示板
- 新聞等で話題になった東京鰐陵会会員の皆さんの新聞雑誌掲載記事または投稿記事を中心に掲載しているお楽しみコーナーです。
- ⑨「事務局便り」
- 事務局からの連絡事項等を掲載

以上の内容でホームページを運営しておりますが、ホームページは東京鰐陵会会員皆さまのもので、ページの良し悪しは皆さまの協力が一番です。ページ内容の充実のためにも多大なるご支援とご協力をお願いする次第です。(ヤフー検索キーワードは「石巻高校」でトップページ中段に出ます)

### 編集後記

おめでとうございます。○「東京鰐陵」No.11号をお届けします。広告にご協力いただいた方々、ご寄稿いただいた皆様にご感謝申し上げます。○今号では、25回生の青沼さんにご登場いただき、ボランティア活動の様子を書いてもいいな。目立たぬところでコツコツ活動している鰐陵生が、他にも沢山いると思います。そのような方を、事務局までぜひお知らせください。

○「東京鰐陵」は、15回生の故高橋良会長の発案によるもので、平成元年(1989)1月に第1号を発行しました。以来、編集に携わってきましたが、今号をもって御役御免とします。長い間ご協力ありがとうございました。次の担当者へも暖かいご支援をお願いいたします。(三七七)

東京鰐陵会 HPへようこそ！  
宮城県 石巻高等学校(旧制 石巻中学校)東京同窓会



- ・東京鰐陵会とは
- ・同窓会会則及び役員名簿
- ・東京鰐陵会会長挨拶
- ・東京鰐陵会総会(平成21年度終了)
- ・年間行事
- ・同窓会会報
- ・同期会・会員便り
- ・情報コーナー
- ・事務局より
- ♪石巻高校  
<http://www.seikou.myswan.ne.jp/>
- ♪鰐陵同窓会本部  
<http://www4.ocn.ne.jp/~gaku>

東京鰐陵会は関東圏に仕事、住居を構えている宮城県石巻高等学校(旧制石巻中学校)の卒業生諸君の会員登録(情報など)をお待ちしております。連絡先及びメールはこちらへ(入会手続き・年会費無料)

イラストレーター・三宅哲氏(27回生)協力による「Foreign Landscapes」。爽やかに、明るいタッチで描かれた世界各地の町並みや豊かな自然の風景をお楽しみ下さい。

2008.04 CopyRight (C) Tokyo-Gakuryukai. All Rights Reserved.

トップページ:「gakuryou.com」または「東京鰐陵会」と打ち込むと上の画像が出ます。

URL: [gakuryou.com](http://gakuryou.com)  
E-mail: [info@gakuryou.com](mailto:info@gakuryou.com)  
担当 今野勝幸(29回生)

あけまして  
おめでとう  
ございます  
21回生有志

新年おめでとうございます  
今年も元気で同期会 郷里との親善ゴルフを楽しみましょう  
東京五陵会  
(26回生東京地区同期会)

### 謹賀新年(東京鰐陵会29回生有志)

- |     |     |      |     |      |      |     |      |      |      |       |      |      |      |     |     |       |     |      |      |
|-----|-----|------|-----|------|------|-----|------|------|------|-------|------|------|------|-----|-----|-------|-----|------|------|
| 山本久 | 森山晃 | 守屋利治 | 本吉行 | 松川文隆 | 深草正惇 | 半澤正 | 千葉慶胤 | 千葉弘二 | 鈴木木勲 | 末永喜八郎 | 今野勝幸 | 木村莞爾 | 菊池清文 | 金澤功 | 岩淵茂 | 今井寅三郎 | 石森耿 | 石渡昭男 | 安倍正剛 |
|-----|-----|------|-----|------|------|-----|------|------|------|-------|------|------|------|-----|-----|-------|-----|------|------|

謹賀新年  
ふるさと発展のため  
頑張ろう鰐陵健児！

東京みやぎ石巻圏人  
会 長 松川文隆 (29回生)  
副会長 木村莞爾 (29回生)

事務局 石巻市立町1-5-15  
石巻商工会議所中  
TEL 0225-22014  
FAX 0225-94397



謹賀新年 東京鰐陵23回生 (現在33名)

“生きている限りは青春だ!!”

※毎年11月東京で同期会を開催しております。平成21年度で同期会も30回目を迎えました。

- 幹事長 松谷 誠
幹事 越後 康夫
荒川 竹雄
高橋 寿雄

あけましておめでとございます

阿部 剛夫 (26回生)

349-0115 埼玉県蓮田市蓮田270
0487697443

謹賀新年

今井 寅三郎 (29回生)

233-0016 横浜市港南区下永谷3503
0458228707

新年おめでとございます

千葉 弘二 (29回生)

迎春 阿部 軍治 (30回生)
筑波大学名誉教授
跡見学園女子大学兼任講師
日本トレストイレ協会理事
302-0127 守谷市松ヶ丘639
0297482668

人類の平和
信ずる道を歩む

安倍 正剛 (29回生)

360-0841 熊谷市新堀1-508
0485321274

迎春

今野 勝幸 (29回生)

株式会社フロントアビジネス
ソフトウエア開発・IP企画作成
0427405442

迎春

安倍 弘明 (30回生)

350-2213 鶴ヶ島市脚折1-38467
0492857432

迎春

木村 景俊 (30回生)

259-0122 神奈川県中郡二宮町
富士見が丘3-716
0463722730

33回生有志
次回総会の幹事回生を務めますので、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

- 木村 貴則 鈴木 博
熊谷 正茂 千葉 慶明
今野 秀克 堀内 文夫
杉山 明 松川 健

瀨川 徹 (40回生)

104-0061 中央区銀座1-5-6
03335642326
FAX 03335644237

迎春

増子 文人 (30回生)

177-0042 練馬区下石神井6-3423
03339972647

謹賀新年

櫻井 政文 (41回生)

103-0013 中央区日本橋人形町29-1
0335651731

迎春

大内 浩 (52回生)

戸田中央総合病院
心臓血管外科部長
03359788055

東京鰐陵会

- 会長 木村 莞爾 (29回生)
副会長 今井 寅三郎 (29回生)
副会長 菊池 清文 (30回生)
事務局長 木村 貴則 (33回生)
監事 三宅 哲 (27回生)
事務局長 千葉 弘二 (29回生)
事務局長 増子 文人 (30回生)
事務局長 松川 健 (33回生)
事務局長 櫻井 政文 (41回生)

片倉 賢 (30回生)

297-0001 茂原市七渡96515
0475226935

鈴木 賀夫 (30回生)

261-0011 千葉市美浜区真砂4-3-2807
0432700725

鈴木 健司 (30回生)

194-0042 町田市東玉川学園1-13-13
04227259764

菊池 清文 (30回生)

143-0025 大田区南馬込6-17-3306
0337716974

小島 守夫 (30回生)

321-3233 栃木県山岳連盟会長
宇都宮市上籠谷町366271
02866711565

畠山 尚 (30回生)

312-0025 ひたちなか市武田83664
02922726796

野村 俊昭 (30回生)

243-0421 海老名市さつき町1-2-103
0462320710

木村 長人 (30回生)

263-0053 千葉市稲毛区柏台1-20-306
0432520853

佐々木 努 (30回生)

286-0201 富里市日吉台3-10-10
0476934927

松田 勝治 (30回生)

総合タム企画株式会社
代表取締役社長
(事務所) 新宿区西新宿3-5-33
03334902990
(本社) 小平市学園西町3-1-25
04233478570

蜂谷 國彦 (30回生)

謹賀新年